

計算書類に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

什器備品……定額法によっている。

(2) 資金の範囲

資金の範囲には、現金・預金、未収金及び未払金等を含めている。なお、当期末残高は、下記3に記載するとおりである。

(3) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	—	53,770,000	0	53,770,000
合計	—	53,770,000	0	53,770,000

3. 次期繰越収支差額の内容

次期繰越収支差額の内容は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	前期末残高	当期末残高
現金	—	8,756
普通預金	—	9,597,072
定期預金	—	20,000,000
前払金	—	464,102
合計	—	30,069,930
未払金	—	8,992,628
預り金	—	420,010
合計	—	9,412,638
次期繰越収支差額	—	20,657,292

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什器備品	246,750	3,701	243,049
合計	246,750	3,701	243,049